

What's中央会 第5回

～野嶋功のなんでも相談室 その2～

Q. 鳥取県中小企業青年中央会は鳥取県だけの独自の団体と聞いたのですが・・・?

A. 結論を先に申しますとその通りです。

まず鳥取県中小企業団体中央会には青年部組織に当たるものに中小企業組合青年部協議会と私たち青年中央会の2団体が存在します。この青年部協議会は各協同組合の若手代表により構成された団体で青年中央会のような個別企業の代表で組織される団体とはその構成に相違があります。

然し、全国大会に参加すると気がつくことなのですが、他県にも〇〇県中小企業青年中央会と一見して私たちと全く同様な名称の団体が参加しています。然し実は他県の場合これが前述の「中小企業組合連絡協議会」に当たる団体なのです。

鳥取県の場合、「清新淀刺たる意気に燃える若々しい力を結集し個性あふれる企業人を育成する」ことを目的に当時の団体中央会の会長であった故中村実氏の提唱により青年中央会が発足しました。これは個別企業を対象とした青年経済団体であり組合を対象とした組織が発足で生まれた形になりました。

鳥取県以外の中央会では協同組合の青年部組織が先行して組織化されたため中小企業青年中央会の名で活動しているわけです。

我が鳥取県は既に青年中央会という名称を私たちが名乗っていたため組合青年部は「中小企業組合青年部協議会」となったわけです。

参考になったでしょうか。青年経済団体には会議所青年部や青年会議所がありますが全国に例を見ない独自の路線を歩んでいるわけです。この独自性を大切にしながらワンマンでなくオンリーワンの活動を行っていきたいものです。
(野嶋功 相談員)

先月号の新入会員紹介の中で役職名が記載されておりませんでした。再度掲載し、おわび致します。

尾 沢 聡 巳 AB型
尾沢運送(株) 代表取締役
一般区域貨物自動車運送事業
〒683-0851 米子市夜見町2709-6
TEL 0859-24-1911 FAX 0859-24-1913

H14.10入会 (推薦者) 中本 松浦
〈自宅〉米子市西福原8丁目1番50号
〒683-0805 S37.11.19 TEL.0859-22-7083

長 田 賢 一 B型
市長田製麺所 取締役
麺類一式製造卸販売
〒683-0845 米子市旗ヶ崎2039
TEL 0859-33-0831 FAX 0859-33-2674

H14.10入会 (推薦者) 小林 田中
〈自宅〉米子市角島町4丁目164-1
〒683-0812 S44.2.9 TEL.0859-33-7407

12月役員会報告

役員会が平成14年12月2日(月)、米子市観光センターに於て開催されました。当日の主な議題は、次の通りです。

- (1) 12月忘年例会、1月例会開催の件
- (2) トライアスロンの件
- (3) その他

言わしてごしない EPISODE 5

『同窓会あれこれ』

先日、卒業以来初めて27年ぶりの高校の同窓会があった。クラス単位ではやっていたがいわゆる学年一同というのは初めてである。当時は三百名の卒業生であったが、83名が集った。国際ホテルの9階はもうすごい熱気であった。そこかしこで「おう、久しぶり!」「おまえ、変わらん」と声を掛け合う。白髪あり、巨体あり、面影のない人もずいぶんいたし、「このふたり、ほんとに同級生なんかね」と年齢不詳(?)の人もいた。2時間半はタイムスリップするには余りにも短く、後で出席者の名前を見て「あいつもおったんか」と往時に思いを馳せる始末であった。同窓で一番の著名人は考古学者で妻木晩田遺跡保存に尽力のあった佐古和枝女史(彼女とは、幼稚園、中学もいっしょだった)、地元財界ではS合名の御曹司であろうか。無論兩名とも顔を見せ、輪の中で談笑していた。思い起こせば米子に帰って8年。この83名の中で飲み友達は何名の数名。帰省時の唯一の人脈がこれである…。普段街中やネオン街でバッタリ会わないのが不思議なくらいである。小さな町なのになあ。後でもらったメールには一様に「皆の姿を見て自分ももっと頑張らねば」と漏らしていた。同感である。

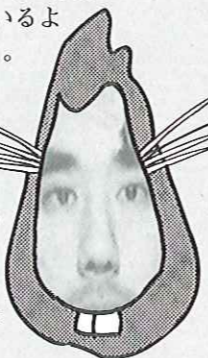
それに比べて我が中央会の色の濃さよ!先日のY会員の結婚披露パーティでも副知事は「…例えば青年中央会のような地元経済人との関わり…」と名前を挙げられるし、I県出向は段上で新郎の初々しさ(奥ゆかしさ?)を暴露し2度もチューさせる。そして最後は我が応援団長N県出向が一人でW大OB三十余名のエルをも上回る檄を飛ばしていた。その存在感といったらまさに圧巻であった。「どこまで続く泥濘ぞ」といった閉塞感の中、程よいガス抜きの後また仕事に打ち込む同輩の姿ほど心強く励まされるものはない。改めて感じ入った二つの催しであった。

(ロゴス・パトスの末裔)

オーエス荒川の オツキツキ通信

隠岐の島は、島根半島より北70キロの日本海上に浮かぶ島である。私がいるのは、島後の西郷町。ゆえに海が時化ると船が出ない。だから、今日は米子の家に帰れません。こんな言い訳が、本気に使えてしまう島である。しかし、本当に帰りたい時に、時化たりしたら大変だ。先日のように波の高さが5mになると、高速船は当然に欠航する。そんなときは、フェリーに乗ってひたすら寝るに限る。うら若き女性がとなりで寝ていると気になって邪魔になることもあるが、大きなゆりかごに乗っているようなものだから、誰も彼も寝てしまう。

11月14日、隠岐諸島の北西の沖合いで、米軍の水中爆破訓練が行われた。漁業関係者には前日に通知されていたとは言え、真偽不明の未確認情報にすぎなかった。米軍側で秘密裡に行う必要性があったのかも知れない。隠岐島沖は、国際緊張の絡む危険な海域であったことを改めて知らされた。



支所長 主 査 合 議 区 分
勝負 自己との戦い、要は人なり 「想いを形に」
2002.12.12
No. 180
発行人: 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 門脇浩二 編集責任者 夏野慎介 印刷所 東京印刷社

11月例会

平成14年11月18日(月) ホテルサンルート米子にて11月例会(経営委員会担当)が開催された。「今年も残すところわずか。それぞれの「勝負」をカタチであらわして欲しい」という門脇会長の挨拶に続き、委員長タイムでは水総務委員長が「近年にないスタイルの忘年例会」である12月例会への「婦人同伴での参加」を会員に呼び掛けた。今月は「中央会とは深いつながりがある」という、翔英学園米子北斗中学高等学校校長の生田雅彦先生を講師として迎え、「学校経営と生き残り」という演題で講演をいただいた。

- 1. 教育はサービス業
教育(特に私学)はサービス業である。「ハンバーガーショップでの店員とお客のやり取り」と、「学校での教師と生徒のやり取り」を比較しながら、①「いらっしゃいませ」「ありがとう」は、教師の台詞に出てこない ②質問の内容が具体的に明確ではない ③復唱して、確実に事を進行することは殆ど行われぬ といった違いを指摘し、サービス業ならば当然のことである「心根(センス)」が、私学の生き残りのためには必要。
- 2. 「ゆとり教育」について
今回の教育改革のキーワードのひとつに「ゆとり教育(=完全週5日制)」がある。鳥取県は現在、「高校進学率ワースト2位」「センター試験44位」「中卒無就職率ワースト2位」等、かつての教育県の面影は無い。このような中、北斗中学では敢えて完全週休2日制を採用せず隔週土曜日登校とした。基礎力をきっちりつけておくことが「ゆとり教育」であり、上に行くときの力になると考えている。特に「読み」「書き」「話をする」、3つの力をつけることが重要。
- 3. 子供を育てるうえで大事なこと
江戸時代の儒学者である貝原益軒の教え ①「暑い」「寒い」という思いを少しさせなさい ②少し飢えさせなさい ③少し嫌なことにも立ち向かわせなさい 子供を育てるうえで大事なこと 「ふたつ叱って、ひとつ誉めなさい」

経営研修会

平成14年度経営研修会が11月28日倉吉未来中心にて開催された。今回は、ヒューロン大学総長・木の国酒造株式会社代表取締役 東力氏を迎え「企業の危機管理～経営者はどう対処すべきか～」という演題での講演が行われた。氏はまず現在のデフレ状況について触れ、「これは突き詰めると人件費の問題になる」とし、汎用性のあるものは中国など人件費の安い国には勝つことができず、独自の技術を開発しなければならないと説かれた。続いて、良い企業とダメな企業を分けるものとして、具体的に上場企業を取り上げ、「価格競争に走らない(利益を確保するために知恵を絞る)」、「3年で回収できない投資はするな」など経営者が戒めるべき点についていくつか触れられた。また、精神面については「絶対あきらめるな!～ネバー・ギブ・アップ～」ということを強調された。氏は、前述の役職の他、大蔵省・衆議院議員・税務署長その他様々な職を歴任されており、その豊富な経験を基にしたお話は実に説得力あるものであった。最後に、中央会諸氏に贈られたダーウィンの進化論の言葉を引用します。「強く、賢く、大きい者が生き残るのではない。変化に対応できるものが生き残るのだ」

(植田 寿雄)

OB交流会

平成14年度のOB交流会が、11月9日(土)に開催された。当初の予定としてはゴルフコンペを行いその後、表彰式を兼ねた懇親会を開催する予定であった。我が広報委員会もゴルフコンペ風景をビデオ撮影して懇親会上映を目的に早朝から植田・高村両会員が現地グリーンパーク大山ゴルフ倶楽部に意気込んで向かった。当日は最悪のコンディション、ゴルフ場は白く雪化粧。ゴルフコンペは残念だが中止になったのである。「きっと誰か行いが悪い人間がいるのではないのでしょうか?」

懇親会は午後6時30分よりホテルサンルート米子にてOB会員14名、現役会員44名の参加で開催されたが参加人数が少なかったのが少し残念であった。

門協会長の挨拶の後、OB代表として松田OBより挨拶が行われ寺澤OBの乾杯で宴会が始まった。ゴルフコンペのビデオ上映に相当力が入っていた中津尾副会長、中止になっても急遽中央会秘蔵VTRを編集して上映。さすが秘蔵と言うだけあって一度も目にした事のない様な貴重な映像ばかり「夢みなど博編」「大運動会編」「中国訪問団編」「例会風景編」等々。

スクリーンの中には歴代会長ほか争々たるメンバーの若き日の初々しい姿。今では想像も出来ないあの偉大なOBの例会中の居眠り姿(会場大爆笑)を見て少しホッとした。

「やはり眠い時には寝るのに限る!」そしてビデオ上映終了後和山健二OBよりゴルフコンペの感想?のスピーチがあり、その話の中で春にOB会ゴルフコンペ開催の発表があり総務委員会の水委員長より、今回のゴルフコンペの為に用意されたトロフィーが贈呈された。

その後、アトラクションとして豪華景品満載(じゃがいも・玉ねぎ・高級肉他)のビンゴゲームに突入り和やかにOBと現役の交流は進んでいった。

松浦OBより中締め言葉があり、山内OBのガンパローで和気藹々と過ごした2時間余りの懇親会の幕を閉じた。最後にこのOB交流会の企画・準備をされた水総務委員長・総務委員会のメンバーの皆様・山本担当副会長・ビデオ編集に奮闘された中津尾副会長大変ご苦労様でした。

(小原 伸夫)



藤居忠弘OB

小生にとって、年2、3回のゴルフ。苦痛でもあり又楽しみであったこの大会。あいにくの悪天候のため、あえなく中止となった。しかし、集合時間の午前8時には次々と、現役会員に混じって懐かしいOBの顔も見え、その悪天候をネタに話が弾み、とてもいい雰囲気になっていた。

半日が過ぎ(その間にゴルフのうっぶんを現役会員をカモに、マージャンで晴らした?OBも居るとか…)、午後6時半、なつかしい中央会時間である。場所をホテルサンルートに移しての懇親会。ゴルフとは又違った顔ぶれのOBも参加して、ビンゴゲーム、懐かしビデオ鑑賞と、楽しい時間はあっという間に過ぎ去っていった。

次の忘年例会が待ち遠しい。宴会大好きおじさんである。

水総務委員長

OB交流会には、たくさんのOB・現役会員にご参加いただきありがとうございました。

あいにく当日は雪にたたられ、予定しておりましたゴルフコンペは中止となってしまいました。その悪天候の中、OBの皆様や現役会員の方々が時間通り会場に集合されたこと、また、中止になったことに対して、私どもに逆にお気遣いいただきましたことに感激いたしました。

場所をサンルートに移しましての懇親会では、当初中津尾副会長の総力編集によりゴルフコンペビデオを上映する予定が、中央会秘蔵ビデオ上映に変更となりましたが、懐かしいOBの方々の活動風景や、現在とは体形の幾分変化した現役会員の姿をご覧いただくなど、違った趣向でお楽しみいただけたかと思えます。

もちろん至らない点が多々ございましたが、その点は次回以降工夫を凝らし、OBの皆様や現役会員の方々に楽しんでいただけるものにしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

12月忘年例会のお知らせ

12月の忘年例会は、OB会員、現役会員だけではなく、日頃我々を支えてもらっている奥様方(予定者を含む)に参加していただくという中央会にとって初めての試みです。

また、ここ数ヶ月の例会出席率を見ましても、例会の新しい選択肢を広げるといふ試みは、非常に意義のあることだと思えます。

時節柄、諸事にご多忙と存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますようお願いいたします。

日時:平成14年12月16日(月)午後6時30分~午後9時まで

会場:ホテルサンルート米子2F 芙蓉の間

参加者:平成14年度現役会員・OB会員ならびに御夫人(予定者を含む)

参加費:OB会員は5,000円、同伴者は4,000円

※当日は、中央会秘蔵VTRの上映や全員参加で行うゲームなど、盛りだくさんの企画を準備しております。



11月度委員会報告

きずな委員会

平成14年11月6日(水) 於:米子食品会館 出席者/11名
内容/①9、10月度委員会まとめ

②今後の委員会運営について

情報メディア委員会

平成14年11月8日(金) 於:(株)インサイト 出席者/8名
内容/ホームページ作成の実習

政治行政委員会

平成14年11月13日(水) 於:ホールサムインかいけ 出席者/12名
内容/サービス業からみた市町村合併

モラル委員会

平成14年11月7日(木) 於:米子食品会館 出席者/12名
内容/講師講演

講師:名和中学校校長 山田 晋先生

演題:これからの教育

国際交流委員会

平成14年11月6日(水) 於:米子食品会館 出席者/10名
内容/中国調査隊役割分担

経営委員会

平成14年11月7日(木) 於:米子食品会館 出席者/6名
内容/①11月担当例会打合せ

②12月忘年委員会について

広報委員会

平成14年11月5日(火) 於:夢みなどタワー 出席者/10名
内容/①ハンサム12月号担当割

②11月担当例会について

総務委員会

平成14年11月7日(木) 於:米子食品会館 出席者/15名
内容/①OB交流会打合せ

②12月忘年例会打合せ

速報 またまたまた発見!! 山本会員ご結婚!!

先月号の湯原会員に続き、山本竜男会員も見事若妻をゲット(?)されました!! この慶事はいったいいつまで続くのでしょうか?

Q1 結婚式はいつですか?

A1 式は平成15年1月11日(土)。ペルライト米子で挙式します。

Q2 彼女について教えてください

A2 名前は由香といいます。年は22歳です。(犯罪かなあ?)。←犯罪です!

Q3 付き合い出したきっかけは?

A3 居酒屋で友達と飲んでる時に隣にいたのが彼女です。いわゆるナンパということです。

Q4 彼女のどこに惚れましたか?

A4 年の割には家族的で、今頃の若い子と違って何でもできる所と、普段はボーッとしますがどしゃべり出すと止らないんです。何ととっても笑顔が大好きです。

Q5 プロポーズはどこで、何とおっしゃいましたか?

A5 普通です。「結婚してくれないかなあ?」返事は「いいよ!」でした。

Q6 結婚後幸せすぎて中央会活動に支障をきたしませんか?

A6 たぶん大丈夫だと思います。(結構理解があると思うんですが…)。

Q7 中央会の皆さんにひとことお願いします!

A7 中央会に入会してもうすぐ1年になりますが、これからも頑張っていきたいと思えます。



同好会通信

野球同好会 和泉流二十世宗家に捧ぐ

ひと月以上前になるが、地元小学校の校区民運動会に参加してきた。20数年前、小学生の頃の筆者はコーナーを曲がりきれずにまくれる大人たちを見て「なんで?」とおもったものだ。目に見えない力に吸い寄せられるかのごとくまくれる姿は奇異の対象であった。しかし、いざ自分が当時の大人の年齢に達した昨今その理由がよくわかる。頭からだが追いつかないのだ。もっというと上半身に下半身が応えてくれないのだ。まくれこそしなかったが、町内の小学生たちには及ばないおっさんと映ったに違いない。

こういう感覚は読者の皆さんも大なり小なりお持ちのことだろう。ずっと続けてきたスポーツならなおさらだ。頭は全盛期の甘美な記憶をとどめてはいるものの、からだはトレーニングを続けていない限り急激な下降線をたどる。うまく折り合いをつけられればよいのだが、昔はできた!という手放したくないプライドが邪魔をするのである。だから、珍プレーなんてものは出るべくして出るといっても過言ではない。

では、珍プレーが珍プレーたりうる条件とはいったいなんだろうか?それは「一生懸命プレーをした結果」である。「一生懸命」がキーワードである。一生懸命やることが観衆、チームメイト、相手に伝わるからこそクスッとという笑いを誘う。対象の選手がプレーする瞬間ヒヤリ、ドキリとし、ときにホッとし、ときにクスッと笑う。「頭・現役、からだ・ロートル」の選手たちの襟り広げるプレーは日本の誇る伝統芸能である能や狂言にも通ずる緊張と緩和の宝庫である。

さて、去る10月27日に第9回中海TV放送杯1回戦が行われ、TSC野球部は強豪南米クラブに見事1対0の勝利を取めたが、続く11月17日の2回戦には惜しくも1対4で敗退した。これで3年連続初戦突破、3年連続2回戦負けである。戦績だけ見れば悲喜こもももではあるが、他のチームのほとんどが平均年齢20歳代だということを考慮すれば大健闘といえるだろう。おまけに、珍プレーの数々を披露し、緊張と緩和の精神を体現するところなど心憎い演出である。相手チームなんかきつと「やっばし、おせになーと違一なあ。」と感心しきりに違いない。ただし、それがあくまで幻想で、実は単なるおっさんの集団としか映っていないかも知れないが、なんていってしまってもいいやないが…。

PS. 中央会現役会員ならびにOB会員の皆様のあたたかいご理解とご支援のもと、TSC野球部は今年も精一杯頑張ってきました。なお、試合当日わざわざグラウンドまで足を運んでいただきました中村昌哲OB夫妻、岩田定治OB、門脇会長、誠にありがとうございました。(きずな:後藤公平)

バスケット同好会

バスケット同好会としての初めてのリーグ戦(境港ナイトリーグ)が9月3日から10月29日まで毎週火曜日の夜に境港市民体育館(第2)で行われた。

始めは毎月の練習で5対5、試合形式の練習が出来ない為、又潮会員・山本(竜)会員など数名を除いて試合経験がなく試合になれると言う事もあり、参加しました。……「自分達の実力を知れ」と言う某副キャプテンの言葉。

結果は試合によっては10点以内の小差で敗れた試合が数試合、9月に比較的勝てそうな相手の試合に委員会と重なり主力メンバーを欠いたり、又例会と重なり不戦敗となったり、運のなさも少しあり8戦0勝(不戦敗含)でした。

感想としては試合には敗れましたが各々が自分の実力、これからの練習の課題が試合を通して、多少なりと分かって来た事は、今まで一番の収穫ではなかったかと思えます。

次の試合は「まず1勝!」又メンバーの皆様、2ヶ月間大変お疲れ様でした。

最後になりましたが、○会員が最終戦でがんばりすぎて名譽の負傷をされた事も合わせて報告しておきます。

(PS. 皆さん全治2ヶ月と言う事ですのでやさしく見守ってあげてください。)

(松原 毅)

